

SDGsについて考えてみよう

第8回

全12回連載

- 目標 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 目標 8 働きがいも経済成長も
- 目標 10 人と国の不平等をなくそう

宗田 鯉男(そうだ がつお: 略してSDGs)です。今月は会社で働く、私たちに
関係する目標について考えてみましょう。



二次元コードも
ご利用ください。



第2回から、日本製紙グループに関わりの深いSDGsの目標を順次取り上げています。今回は当社グループの事業の基盤となる、目標5、8、10について説明します。



目標5「ジェンダー(性差)の平等を達成し、すべての女性のエンパワーメントを図る」

日本製紙グループと関連するターゲット

- 5.1 女性に対する差別の撤廃
- 5.5 意思決定の場での女性の参画及び平等なリーダーシップの機会の確保



目標5とターゲット全文
<https://bit.ly/2JYxwqL>(PDF)



目標8「すべての人のための持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク※を推進する」

日本製紙グループと関連するターゲット

- 8.1 一人当たり経済成長率を持続
- 8.5 ディーセント・ワークの推進
- 8.8 労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境の促進



目標8とターゲット全文
<https://bit.ly/2FTyjVO>(PDF)

※ ディーセント・ワーク:「働きがいのある人間らしい仕事」。具体的には「権利が保障され、十分な収入を生み出し、適切な社会的保護が与えられる生産的な仕事」



目標10「国内および国家間の格差を是正する」

日本製紙グループと関連するターゲット

- 10.2 すべての人たちへの能力強化
- 10.3 機会均等の確保



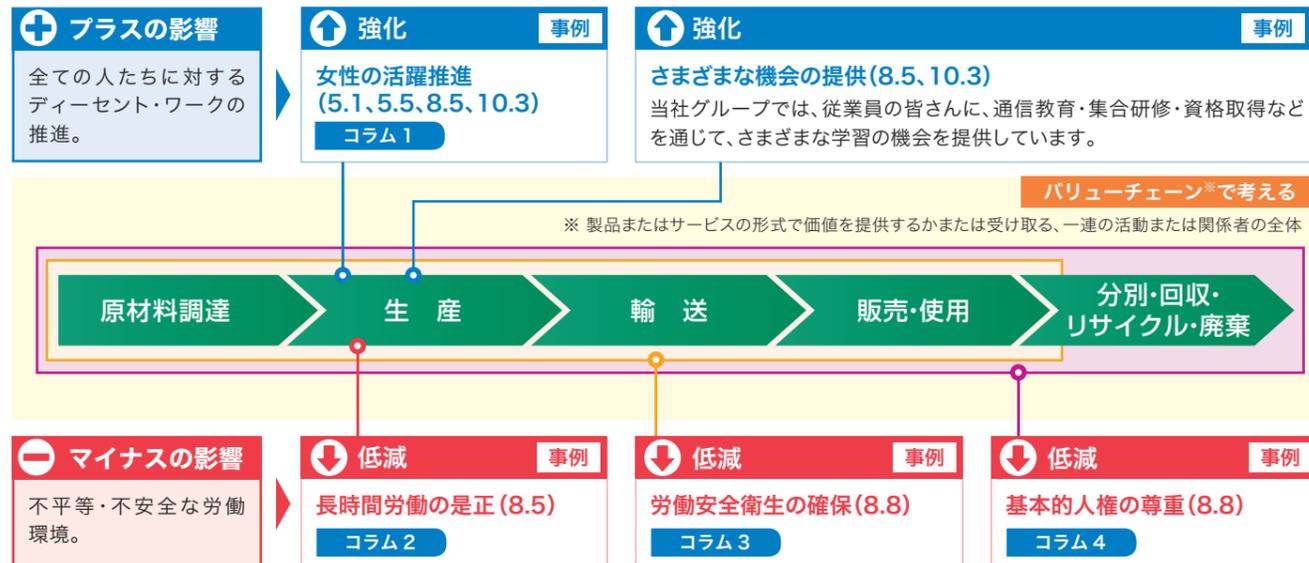
目標10とターゲット全文
<https://bit.ly/2FLOWBC>(PDF)

〈背景〉

SDGsは、企業・団体・組織で働く人々を対象とした取り組みも求めており、目標5、8、10が深く関係してきます。特に日本は、世界と比べて女性の活躍の遅れや長時間労働などの問題があり、企業による積極的な改善が必要です。自社のみならず、バリューチェーン全体での配慮が必要とされています。

日本製紙グループの取り組み

当社グループでは、広大な森林や大規模な生産拠点で多くの人が働いており、各拠点で働く人たちの安全衛生の確保を最優先に考えています。また、個性の異なる多様な人材が能力を発揮し、働きがいと活力のある組織を目指しています。



コラム1

女性の活躍推進

世界の中で日本の女性活躍は進んではおらず(144カ国中114位)、この推進は日本政府が国の「SDGs実施指針」の中で、優先して取り組んでいる課題です。当社グループも社内でダイバーシティ※勉強会を開催したり、女性総合職のネットワークをつくり、女性が活躍できる職場環境を構築するための取り組みを進めています。

投資家も企業内での女性活躍に関心を持っていますが、日本製紙は女性の活躍を進めている企業からなる株価指数「MSCI日本株女性活躍指数」に選ばれました。

※ 直訳は「多様性」。性別に限らず、国籍、年齢、宗教、ライフスタイルなどを含めて、企業は多様な人材を受け入れるべきであり、それにより競争力も高まる、という考え方



MSCI日本株女性活躍指数のロゴ

コラム2

ワークライフバランスの推進

当社グループでは、従業員の皆さん一人一人が能力を十分に発揮できるように、総労働時間短縮の推進、仕事と育児の支援※など、仕事と生活を両立できる職場環境づくりを進めています。

※ 次世代認定マークくるみんの取得

当社は、「次世代育成支援対策推進法」に基づき、従業員の仕事と育児の両立を支援しています。厚生労働大臣から「子育てサポート企業」に認定され、次世代認定マーク「くるみん」を取得しています。



「くるみん」マーク

コラム3

安心して働ける職場環境づくりの推進

従業員の皆さんが安心して働ける職場づくりを推進していくことは、企業の重要な責任の一つです。当社グループは、「安全防災に関する理念と基本方針」に基づいて労働・安全衛生体制を構築し、事故・災害未然防止活動と安全で働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。



安全防災に関する理念と基本方針
<https://bit.ly/2FO0Uf0>

コラム4

全ての人が希望を持てる会社に

当社グループが重視する価値
Challenge Fairness Teamwork

当社グループは、従業員の皆さんが高いモラルとモチベーションを保ち、力を合わせて能力が発揮できるように、「Challenge・Fairness・Teamwork」を「重視する価値」に掲げています。

また、当社グループの「人権と雇用・労働に関する理念」の中で、「基本的人権を尊重し、多様な人材の個性と能力を活かした、夢と希望のあふれる会社を創造する」ことを明記しています。

当社グループの従業員のみならず、バリューチェーン全体で働く人たちの人権配慮も重要です。当社は「アムネスティ・インターナショナル日本」と国内外の人権課題について、意見交換をしながら、取り組みを進めています。特に原材料の調達については、「原材料調達に関する理念と基本方針」に基づき、サプライチェーン全体で人権と労働への配慮を実施するために、木材チップサプライヤーに対する監査目的でアンケートや現地視察を実施しています。



人権と雇用・労働に関する理念と基本方針
<https://bit.ly/2CM28pq>



原材料調達に関する理念と基本方針
<https://bit.ly/2TSYTIS>

当社グループが掲げる価値を大切に守ることが、フェアで働きがいのある職場の推進につながるのですね！
皆さんからのご質問、ご意見を募集しています。WEBアンケートにてお寄せください。



アンケート
<https://bit.ly/2P9DcMr>



SDGsくんとその同僚たち